

議員全員協議会

日 時	令和4年2月15日（火） 閉会中	8時55分 開会 9時47分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 植田博巳 副議長 15番 村田博英	
	1番 石山和生	3番 絹村智昭 4番 名波和昌
	5番 加藤 彰	6番 木村正利 7番 松下定弘
	8番 種茂和男	9番 濱崎一輝 10番 原口康之
	11番 大井俊彦	12番 太田佳晴 13番 中野康子
	14番 大石和央	
欠席議員	2番 谷口恵世	
事務局	局長 原口 亨 次長 本杉裕之 書記 大塚康裕 書記 本杉周平	
説明員	市長、教育長、建設理事、総務部長、企画政策部長、政策監	
傍 聴		

署名 _____ 議長

[午前 8時55分 開会]

開会の宣告

○議長（植田博巳君）

全員お集まりですので、ただいまから議員全員協議会を開催いたします。
谷口議員におかれましては、欠席届が出ておりますので、よろしくお願いいたします。

2 市長報告

○議長（植田博巳君）

まず最初に市長報告ということで、杉本市長、よろしくお願いいたします。
市長。

○市長（杉本基久雄君）

皆さん、おはようございます。

本日は、新型コロナウイルス感染症について、ほか3件の報告をさせていただき予定でございますが、案件に入る前に2点、少しお話をさせていただきます。

まず、榛原総合病院組合の人事でございますが、去る1月25日、本市から榛原総合病院組合事務局に派遣をしておりました植松事務局長がお亡くなりになりました、ということから、組合事務局長が不在という状況でございましたけれども、2月10日に病院組合の職員であります事務局の病院事業係長の平岡寿通さんを事務局長とする辞令を交付いたしましたので、ご報告申し上げます。

なお、市職員の派遣を含む新年度の事務局の体制につきましては、現在、4月からの派遣を予定しておりますので、それに備えて今、人選をしております最中でございますので、よろしくお願いいたします。

それから、2点目でございますが、今日の朝刊にも少し、事件事故の欄に出ておりましたが、昨夜、夕方6時10分頃ですが、牧之原市細江堀之内で死亡事故がございました。

これは、これまで死亡事故ゼロの日を、以前、8月の全員協議会でお知らせをさせていただきましたけれども、昨年7月24日で400日の死亡事故ゼロ達成をいたしましたけれども、それから205日が経過した昨夜ということですから、605日で死亡事故ゼロの日が、また途切れてしまったということでもあります。

昨夜の事故については、94歳の高齢者が道路を横断中に75歳の女性の運転する車両に接触して、そして亡くなったというようなことがございました。

牧之原警察署長から、昨夜、私のところに電話がありまして、本当に残念だということでありましたけれども、また改めて今日からゼロの日を重ねていこうというようなことで、お話をさせていただいたところであります。

本当に夕暮れどきとかいうとき、非常に見にくい、そして暗い中での道路横断というのは非常に危ないものですから、そういった面で、再度、高齢者の事故防止に取り組まなくてはというふうに思っております。

それでは、案件について、お示しさせていただきます。資料にのっとりまして、説明をさせていただきます。

まず、新型コロナウイルス感染症についてであります。新型コロナウイルス感染症につきましては、全国的に感染が拡大する中、政府では東京など13都府県のまん延防止重点措置を、3月6日、日曜日まで3週間延長するとともに、新たに高知県にも来月6日まで適用することを決め、これによって、まん延防止措置の適用地域は36の都道府県に拡大されました。

一方、静岡県など21の道府県のまん延防止措置が今月20日、日曜日に期限を迎えることにつきましては、感染者数の推移や病床の使用率などを見極めながら今週半ばに扱いを判断する方針であるということですが、本県につきましては、昨日、川勝知事が2月15日に国へ延長を要請することを表明いたしました。県民や飲食店などへの新たな行動制限を設けずに、今の措置のままを延長する予定との方針が示されたところであります。

当市におきましても、連日多くの感染者が確認されておまして、市民の皆様には引き続き、3密の回避、人と人との距離の確保、マスク、手指の衛生などの基本的な感染防止対策の徹底と人の移動や人に会うときには感染リスクが伴うことを忘れずに慎重に行動していただくよう、注意喚起をしております。

参考に牧之原市のいろんなコロナ対策の関係につきまして、リンクを貼っておりますので、また、ご覧をいただきたいと思っております。

そして、現在、牧之原市役所の職員、その家族等にも陽性者が出ている状況であります。市役所組織が機能不全に陥ることのないよう市内の協力体制を強化いたしまして、業務の継続に努めているところでございます。

3回目のワクチン接種につきましては、現在、医療従事者、高齢者施設入所者などの接種を進めるとともに、一般高齢者の接種を2月1日から開始いたしまして、早く接種できるワクチンでの予約をご案内しているところでございます。

また、先週の文教厚生委員会協議会で健康推進部から説明したとおり、64歳以下の方については2月下旬から、5歳から11歳については3月中の接種開始を準備しているところであります。

接種等の詳細は、接種券送付の通知に加えて、随時、ホームページやLINEでお知らせをしているところでございます。こちらについてもリンクを貼っておりますので、詳細はそちらをご覧くださいと思います。

そういう中で、昨日、3回目のワクチン接種の県内の状況について、SBSのテレビで状況を報告されました。その中で、県下で、現在、高齢者の接種率が一番高いのは袋井市で36.8%、そして牧之原市はそれに次ぐ36.7%、0.1ポイント差で2番となりましたけれども、県下の中でも群を抜いて接種率が高いというようなことで報道されたところでございます。

そうした中で、現在の接種率といえますか、この数字の下、先日もお伝えしておりますが、高齢者人口が1万4,070人、2回目の接種者数1万3,509人、これで現在、接種者数が5,164人ということで、接種率が36.7ということでございます。

そして、2月14日現在の接種券の発送に対する予約状況、2月10日発送分まででございますが、接種券の発送者総数が1万4,686人、そして予約者数が1万373人ということでありまして、予約率は70.6%であります。

また、それから予約枠に対する予約の状況でございますが、2月14日までに1万2,615の予約枠を現在、空けています。予約者数については、1万373人ということで、予約枠に対しての予約率については78.8%と非常に高くなっています。

そして、ファイザーとモデルナでございますが、ファイザーにつきましては3,808人の枠に対して予約者数が3,808人ということで100%であります。

モデルナの集団接種については、報道等によりますと、全国的にとか、県内でも予約率が30%程度ということでございますが、本市については8,807枠に対しまして6,565人ということで、これもモデルナの接種予約状況が74.5%ということで、非常に高いです。これは、やっぱり市民の皆さんの感染防止に対する意識が非常に高いということが言えるというふうに思います。

県においても、接種を受けるのが早く打てる。それから、効果がモデルナは高い、そして効果が長いというようなことで推奨しておりますので、私も接種いたしましたけれども、副反応については1回目とさして変わらない状況でございましたので、ぜひ、早い、高い、長いということでありますので、積極的な接種を、また呼びかけていただくとありがたいというふうに思います。

こうしたことも、私ども健康推進部の職員が、本当に土曜、日曜の休みもなく、交代で現場に携わっていただいて、非常にスムーズな流れで接種ができているということで、本当にありがたいと思いますし、それを協力いただいている医師会の関係者の皆さんに感謝をいたす次第でございます。

早期の鎮静化、収束に向かうことを祈っているところでございます。

2点目でございますが、牧之原市自治基本条例施行10周年記念シンポジウムの延期についてでございます。

これにつきましては、2月26日、土曜日の午後、相良総合センターい～らを会場に開催を予定いたしておりました。牧之原市自治基本条例10周年記念シンポジウムにつきましては、ご通知を差し上げたとおり、コロナ感染拡大状況、そして、市外から多くの参加者を予定している、こんなことにも鑑みまして、延期をした次第でございます。

開催時期につきましては、講師等の今年度中の日程調整が厳しいということから、次年度の開催に向けて、現在、関係者と日程調整をしております。また、日程等が決まりましたらご周知させていただきますので、予定のほうを入れていただきたいと思っております。

続きまして、2020年東京五輪ホストタウン記念講演の開催についてでございますが、これも延

期をしておりました2020東京五輪ホストタウン記念講演会ではありますが、これを改めて開催をしたいということで予定をさせていただいております。

開催日時につきましては、令和4年3月12日、土曜日、午後1時30分から午後4時、会場は相良総合センターい〜らにおいて、500人の会場を定員を150人を予定して開催をするということになります。

講演につきましては、前回同様、アメリカオリンピック・パラリンピックの委員会のジョン・オオモリ氏をお迎えして、「2020東京五輪を振り返る」というようなテーマでご講演をいただくとともに、大阪体育大学学長の原田宗彦様をお迎えして、「五輪は地方に何を残したか 縁を発展につなげて」というようなことで、ご講演をいただく予定でございます。

市議会の皆さんには、本日、議会事務局からEメールでご案内をいたしますので、ご出席いただきますよう、よろしく願いいたします。

私からは以上でございます。

○議長（植田博巳君）

市長報告が終わりました。

この件に関して、その他でも結構ですので、ご質問があればお受けします。

中野議員。

○13番（中野康子君）

その他でよろしいでしょうか。

報道ですけれども、全国的に教員が不足しているということでございます。それで、静岡県でも49人が不足しているという状況でございますけれども、牧之原市におきましては、これは県のあくまでも人事案件でございますので非常に難しいとは思いますが、現在の牧之原の小中学校、特にそれから特別支援学校等の教員が足りないということでございますが、現状はいかなものか、ちょっと教えていただきたいと思っております。

○議長（植田博巳君）

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

去る2月1日の静岡新聞に全国的な教員不足という大きな見出しで記事が載りまして、静岡県内でも49人不足ということでありまして、現状、令和3年度、本年度で言いますと、牧之原市内はほぼ足りていると、欠員で言いますと、小学校1、中学校1ですので、十分、何とかなっている状況です。

ところが、来年度、今、人事の大詰め段階にきていますけれども、来年度については、中学校は何とか埋まるんですけども、小学校が大幅に不足しています。

これは市内だけではなくて、榛原地区全体、もっと広くで言うと、静西管内全体、県全体、これが大幅な不足になっています。

教員の定数というのは、学級数に応じて基準配当、配当されますので、それに加配教員という

ことで、静岡県の場合は35人をつくるための加配教員を県から配当してくれるわけですが、退職者数と採用者数のアンバランス、ちょっとここが違っていることと、特別支援学級が増加しているということ、それと、産・育休に入っている方が多いと言うんでしょうか、むしろ育休が連続して、お二人、生まれる方もあるものですから、なかなか3年間、さらに伸びる方も多くて、学校によっては、講師の方が学級担任をやっているということも、小さな学校でもあるという状況です。

こういったことが全県的にありまして、ここを何とかしてほしいということで、教育長会でも県に要望しているんですが、採用数が決まっている中ではどうにもならないような、今、状況になっています。

ですので、今は何としても講師を確保ということで、講師登録をされている方、それでもなかなか見つからない状況がありますので、一旦リタイアされた方ですとか、県の人材バンクというものもあるものですから、そちらのほうにお願いしたりとかして、何とか4月の入学式の日学級担任不在ということでスタートをすることがないように、今、一生懸命に努力をしているという状況です。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

学級数が減っている中で、教員も少ないというのは、やっぱり先ほど言われたように、需要と供給がアンバランスということは当然分かっています。

そんな中でですけども、以前は、体育の先生が、牧中の場合、理科とか社会を教えたものだから、実験なんかは一切できなくて、高校へ行って、初めて理科の実験というのを味わって、とても理科ってすごく大事で、すごく好きになったという声を二十歳の成人式のときに聞いて、私、それで、娘にもちょっと聞いたら、理科は実験何もなかったということを知っていて、やっぱりちょっとそれはいかなものかなというのがあります。

それと、新聞の報道によりますけれども、県の採用試験の一次を落ちた人を講師として迎えるというんだけれども、それもちょっと何かいかなものかなと思うんだけれども、もし、牧之原市で教員を辞めても、教師として情熱を持っている方っていらっしゃると思うんですよ。そういう方なんかを、ぜひ発掘して、何か今日、足りない部分を補助でしていただくような、そんな体制も取らないとちょっと大変かなというふうには思っていますけれども、いかなものでしょうか。

○議長（植田博巳君）

教育長。

○教育長（橋本 勝君）

今、中野議員がおっしゃったとおり、あらゆる手を尽くして、今、何とか確保しようということとで努力をしています。

教員採用試験が本当に非常に低倍率になりまして、これは全国的な傾向です。静岡県においても小学校は3倍を切って2倍台、それでも、そこに合格できなかった不合格になった人は講師として4月にお願いして教壇に立つわけですね。正規であるか臨時採用であるかという違いだけであって、こういう厳しい状況もあります。

その採用試験の中身については県が決める話ですので、適性とか様々なことを、能力ですとかね、そういうのを見極めた上での合否を出していると思いますので、これについては、いかともし難いんですが。

もう一つ、定年を前にして辞められる方も、今いらっしゃる。もちろん再任用されて65歳まで頑張る人もいるんですけどもね。

様々な事情、家庭事情ですとか健康上の理由でそうなって、一旦お家のほうに入ったとしても、もう一度お願いするということが、本当にお願ひしているんですけども、厳しい状況が個人的にあるのと、さらにもう一つ、来年度、何とか改正されようとしていますけれども、免許の更新制のこともあって、高年齢の方については免許を更新していませんので、再度、教壇に立っていただくためには、大学に行って単位を取っていただかないと免許が使えないという、今、状況になっていますので、それを理由にお断りされるということが結構ありまして、なかなか本当に厳しいなということでもあります。

議員の皆さんの親戚ですとか、近くの方に教員免許を持っていたら、なんかやってみたいなとか、やれるかなという方があったら、ぜひ紹介していただきたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

○議長（植田博巳君）

ほかにございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

ないようですので、これで市長報告は終了させていただきます。

3 議長・関係議員・委員会報告 （1） 会議等の結果

○議長（植田博巳君）

引き続きまして、議長・関係議員の委員会報告を行いたいと思います。

最初に会議等の結果ということで報告させていただきます。

私のほうから先に報告をさせていただきます。

1月17日、浜岡原子力発電所安全等対策協議会第6次エネルギー基本計画説明会に、私と副議長、それから市長が出席をいたしました。

第6次エネルギー基本計画については、原子力立地政策室長の前田博貴氏が講演されまして、2050年カーボンニュートラルに向けまして、2030年度、46%削減、さらに50%の高みを目指して挑戦し続ける新たな削減目標の実現に向けた政策の道筋を示すことが、この計画の重要なテーマ

ということで講演をお聞きしました。

次に1月25日、全国市議会議長会第173回建設運輸委員会、これもコロナの関係で書面開催となりました。

内容的には、協議事項が3項目ございまして、まず最初が建設運輸委員長及び副委員長の選任についてが議題となりまして、委員長は阿南市の議会議長、それから副委員長には、私、牧之原市議会議長が就任という結果になりました。

協議事項の二つ目は要望事項でございます。ハード、ソフトが一体となった防災減災対策の推進、コロナ対応の2項目が要望事項として採択されております。

協議事項の三つ目は、次年度、委員会への申し送り事項ということで、本年度の要望事項を踏まえて次年度の委員会へ引き継ぐという内容でございました。

1月31日、第162回静岡縣市議会議長会定期総会、これも書面開催となりまして、議案第1号から第4号までは要望事項、議案5号については負担金、第6号については会計予算、歳入歳出も598万円という内容でございます。第7号から第13号までは役員等の選任、協議事項は次期総会は伊豆の国市の承認についてということで、全て賛成ということで可決しております。

それから2月1日、商工会員「2022新春の集い」、い〜らで15時から行われまして、出席してまいりました。

それから2月2日、静岡県地方議会議長連絡協議会第2回政策研修会ということで、これもオンラインで行われまして、内容的には、「M a a Sが切り拓く地方観光地の未来」として、東急株式会社交通インフラ事業部M a a S戦略課長、そして、合同会社うさぎ企画の森田創氏の講演が行われました。

これは、スマホで宿泊、電車、バス、タクシー自転車といった複数の交通が一括して予約決済ができて利用できる仕組みのことでございまして、これに基づいて地域活性化、関係人口の増加、企業誘致の重要な要素となっております、伊豆を中心に今、展開しているというような内容でございました。

次に、2月5日ですけれども、図書館交流館いこっこの来館者10万人達成記念セレモニーということで、開館1年間の目標を5万人というふうに設定しておりましたけれども、約10か月で10万人達成ということで、漆畑さん家族が達成者となっております。

次に、2月7日、御前崎港セミナー、これもWEB配信ということで、内容的には、御前崎港の整備状況が港湾事務所所長、それから講演が「2022の中国経済の展望 米中関係と日中関係の新展開」という講演内容で、県大の柯隆(カリユウ)特任教授がご講演されました。

次に、2月10日、牧之原市御前崎市広域施設組合が開催されました。内容的には当市の議員構成が変わったことから議長選挙が行われ、私が議長に就任し、議席の一部変更、一部指定の後、議案第1号が組合会計予算11億8,220万3,000円の予算、それから第2号は、令和4年3月31日をもって養護老人ホーム豊岡管理組合が脱退したということから、静岡縣市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について議題となり、2案とも可決いたしました。

以上であります。

副議長。

○15番（村田博英君）

2月3日に東遠議員交流フォーラムの打合せ会、書面開催でしたがありました。

今後の構成についてどうするかということで、牧之原市もそうですが、そのほか3市の方は、これは非常に有意義であるので、ぜひ続けてほしいと、前はコロナで中止になったわけですが、ということで、一堂に集まって顔の見える情報交換会は、大変、有意義なものだということで、新型コロナウイルス感染があるんですが、その収束の兆しが見えない状況であります、ぜひオンライン研修とかを含めまして検討して開催するようにしていただきたいと、そのようなご意見でございました。

それから、やるとなれば、いつがよろしいかということですが、例年のことですが、5月がいいということで、まだ日にちは未決定ですが、予定どおり、そういうふうに進めましょうということでございます。

それから、1月26日に榛原総合病院の例月検査と組合定期監査がございました。

先ほどちょっとお話が市長からありましたけれども、事務局長がお亡くなりになったということで、係長の平岡さんが中心になって説明があって、従来どおり監査を行いました。

特に過誤はございませんでしたので、無事終了いたしました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

大井議員。

○11番（大井俊彦君）

1月24日に定期監査を行いました。この日は、健康推進部と福祉こども部の各課を対象といたしました。

次に、1月25日に例月出納検査と定期監査を行いました。この定期監査については、水道課について行いました。

それから、1月26日に定期監査を行いました。この日は、建設部の各課を対象に行いました。

それから、1月27日に定期監査を行いました。この日は、教育文化部の各課と議会事務局を行いました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

1月31日に牧之原市菊川市学校組合例月出納検査、昨年度の8月から12月分を行いました。全て適正に処理をされていることを確認いたしました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

濱崎議員。

○9番（濱崎一輝君）

昨日、2月14日に駿遠学園管理組合の定例議会が開催されました。

内容としましては、報告1件と令和4年度当初予算の議案を含む2件が提出され、無事可決されました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

ほかはございませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

3 議長・関係議員・委員会報告（2） 議会運営委員会

○議長（植田博巳君）

それでは、次に移ります。

（2）議会運営委員会のほうから、報告をお願いします。

大石議員。

○14番（大石和央君）

議会運営委員会です。

去る1月17日です。この日は牧之原市議会基本条例の見直しということで、チェックシートを皆さんに確認をして、詳細はもちろん特別委員会ということで終わりました。

そして、2月7日でありますけれども、まず、2月定例会についてということで、提出予定議案について、総務部長より説明がありました。これは資料1のとおりでありますので、後ほどご確認していただきたいと思います。併せて委員会付託について、確認を行いました。

そして、補正予算連合審査会の日程についてということでありますけれども、これも資料2ということでありますので、また後ほど、ご確認願います。

そして、次に牧之原市の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例についてということでありますけれども、これは後ほど協議事項のところで行いますので、よろしく願います。

そして次に、要望書が来ております。1件でありますけれども、これは郵送によるものでありますので、議員配布といたします。

そして、その他ということでありますけれども、視察研修ということで、原発の視察研修と、それから次の議員勉強会ですね。これについてもコロナのため延期をするということで既にお知らせをしているところであります。

そして、議員研修会でありますけれども、幸い大事には至らなかったんですけれども、急遽、

コロナの感染ということであったものですから、これは、本年度は中止ということといたしました。

新年度に、今後、議運の視察とともに、この辺りのところを、また協議をしていきたいというふうに思っております。

そして、令和3年度の一般会計議会費ですけれども、2月の補正予算についてであります。これは2月17日に事務局のほうから詳細の説明があります。

そして、同じ令和4年度の一般会計の議会費についても、当初予算ですけれども、これも17日に事務局から議会費の説明があります。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 (3) 総務建設委員会

○議長（植田博巳君）

次に、総務建設委員会、お願いいたします。

○12番（太田佳晴君）

1月27日と2月10日に総務建設委員会を開催いたしました。

内容は、所管事務調査であります持続可能なまちづくり、これについて、提言書の提出に向けて、あまりにもテーマが広いということで、やはり絞り込んでいかないといけないということで、委員の皆さんから1月27日に考え方を聞き取りまして、2月10日に一定の絞り込みを行いました。

お茶問題から考えるスマート農業について、緑の食糧システム戦略の活用、観光の側面から、このような切り口で、今後、政策提言に向けて取り組んでいくということで確認をいたしました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 (4) 文教厚生委員会

○議長（植田博巳君）

次に、文教厚生委員会、お願いいたします。

○13番（中野康子君）

文教厚生委員会です。2月10日に人口増加につながる魅力ある子育て施策について、委員のほうから提出していただいておりますテーマ、子育て支援体制の充実、人口増加につながる子育て支援について、子供の貧困対策といじめの防止、これにつきまして、今後、当局の現状をお聞きするという事になっています。

そして、高齢化社会対策につきましては、委員の提出のテーマといたしまして、今後の高齢化社会対策について、デジタル化の推進そして、高齢者の終活支援等について、このことに関しましても同じようにやっていく予定でございます。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 （5） 議会広報特別委員会

○議長（植田博巳君）

次に議会広報特別委員会、お願いいたします。

○10番（原口康之君）

1月17日、1月28日、議会だより65号発行に向けての確認作業を行いました。

もう1点、次期の号につきましての表紙の写真について、確認作業も行いました。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

3 議長・関係議員・委員会報告 （6） 議会改革特別委員会

○議長（植田博巳君）

次に、議会改革特別委員会、お願いいたします。

○15番（村田博英君）

議会改革特別委員会ですが、今日、本来なら全協の後、やる予定でしたけれども、いろいろ諸事情がございまして、一応、18日にやりたいなというふうに思っていますが、この後、両委員会の状況で決めたいと思います。

そして、チーム分けをしておりますが、それに従って、次の会から二つのテーマでやっていきたいと思います。これはまた次の議会改革特別委員会で説明をいたします。

以上です。

4 協議事項 （1） 牧之原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

○議長（植田博巳君）

次に移ります。4番の協議事項ということで、（1）牧之原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について、これについて、事務局のほうから報告願います。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

それでは、私のほうから説明をさせていただきます。

アとしまして、人事院勧告に基づく議員の期末手当の取扱いについてということで、皆様のほ

うには、議会運営委員会で11月12日、それと12月7日、全員協議会で11月16日と12月20日に説明をさせていただいております。

内容としましては、期末手当を引き下げる、マイナス0.15月分となります。

もう一つが、令和3年度の引下げに相当する額につきましては、令和4年の6月の期末手当から減額することで調整を行うということで、令和3年11月24日に閣議決定がされております。

その後、イとしまして、一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案ということで、令和4年2月1日に閣議決定がされました。

その内容としましては、議員報酬の費用弁償等に関する条例の一部の改正をする中身ですが、第4条第2項中の100分の182.5を100分の175に改めます。

そして、附則としまして、令和4年6月に支給する期末手当に関する特例措置という附則を設けて、その内容としましては、令和4年6月に支給する期末手当の額は、令和3年12月に支給された期末手当の額に182.5分の15を乗じて得た額を減じた額とすると、そういった附則を設ける形になります。

ウとしまして、これにつきましては2月の定例会最終日3月24日に、議員発議として設けたいと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

この件について、ご協議願いたいと思います。

ご質問がある方はいらっしゃいますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

ないようですので、この件については、ご承知おきください。

5 その他

○議長（植田博巳君）

次に、その他でございます。

熊本県の人吉市新庁舎落成式の市制施行80周年記念合同式典というのが3月27日でございます。これについて、当市に対して、市長及び議長の出席の依頼がございました。

人吉市との関連としましては、友好都市ということで、牧之原市の市制10周年記念式典のときに市長と議長が来ていただいたということから、3月27日、私、出席する予定でおります。

ただし、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等、あるいは緊急事態宣言等を鑑みた状況に応じて、欠席という取扱いを考えておりますので、お願いいたします。

それから、市長報告がもう1件ございますので、その他の中で報告していただきたいと思っておりますので、ちょっとお待ちください。

先に、今回の議員さんが、みなし陽性というような状況の中で、その関連で濃厚接触というような形になって、最終的にはPCR検査の結果、陰性ということで、濃厚接触者ではないということで訂正をいたしましたけれども、この件について、事務局長のほうから経過、経緯を報告しますので、よろしくお願いたします。

事務局長。

○事務局長（原口 亨君）

私のほうから、谷口議員の件について、ちょっと経過説明をさせていただきたいと思います。

2月9日に子供さんが発熱をし、PCR検査を実施しました。

翌日、2月10日ですが、子供さんの検査結果が陽性ということで、谷口議員は濃厚接触者ということになります。

その日の昼頃ですが、谷口議員自身が少し発熱症状があるということで、医療機関を受診しました。

PCR検査を実施しないで、医師の判断で、みなし陽性ということで、その時点で判断をされましたので、2月9日に谷口議員と一緒に昼食を取られた議員がいらっしゃいましたので、その方々につきましては濃厚接触者ということで、7日間の自宅待機を依頼をさせていただきました。

その後ですが、2月11日に保健所のほうから子供さんのことで連絡があったということで、その際に、谷口議員からは、子供さんと谷口議員ご自身の2人をホテル療養としたいということで保健所に依頼をしたんですが、保健所のほうは、谷口議員については発症届が出ていないということで、ホテル療養の対応ができないということを言われたということで、それでは自宅療養だとちょっと困るということで、谷口議員本人もPCRを実施して発症届を出すという形を取るとということで、PCR検査を翌日の12日に実施をしました。

その谷口議員のPCR検査の結果なんですが、2月14日に結果が出まして、結果は陰性だったということで、谷口議員につきましては、発熱の症状はあったんですが、検査の結果が陰性ということと医療機関から保健所への発症届が提出されていないということで、そもそも感染していないという判断をその時点でされました。

したがって、先ほど申し上げました谷口議員と昼食を取られた5人の議員の皆さんについても、その時点で行動制限をしないということで判断をさせていただきました。

ただし、ちょっとうちの健康推進部との相談をしたんですけれども、谷口議員は発熱をしたという症状が出ているというのは事実ですので、もしかしら、そのPCR検査を実施した際には、体内のウイルス量が急激に減っていて陰性になった可能性もなきにしもあらずというか、捨て切れないということでしたので、先ほど申し上げました5人の議員さんにつきましては、昨日と今日、簡易検査キットで検査をお願いしまして、陰性が確認されていますので、今日から出席をされています。

これは決して、皆さんを疑ってとかそういうことではなくて、より安全というか安心を考えてということでお願いをしましたので、ご了承いただければと思います。

それと、すみません。谷口議員につきましては、本人は今もう症状はないんですけれども、お子さんの看病とかもありまして、お子さんと接触をしているということで、今週いっぱい自宅にいらっしやって、来週以降、議会等の活動には復帰するというところで伺っておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

この件について。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

今、局長のほうからご報告がありましたけれども、今回の件について報告を、2月8日に昼食を取ったということで、濃厚接触者ということに一旦はなったものですから、その辺の経緯を少し報告をさせていただきたいと思います。

報告がありましたとおり、8日の昼食を6人で取りました。その後、9日の午後、事務局のほうから谷口議員が、みなし陽性になったということを知ったものですから、すぐさま8日に昼食を取ったということの報告をして指示を仰ぎました。

その結果、水曜日まで、本来であれば明日ですけれども、自宅待機をお願いしたいということで、我々5人とも、即日から自宅待機ということで体制を取りました。

それで、その間、発熱が大体2日から3日で、もしかかっていたらあるということだったものですから、2日、3日とも、5人に確認を取りながら経過を確認し合いました。その結果、2日目、また3日目とも、全員、異常はございませんでした。その旨は2日目、また3日目、議長、局長のほうには、随時、報告をさせていただきました。

そして、何事もなく過ごして、昨日、先ほど局長から報告のあったとおり、報告がありましたものですから、全員、今朝、簡易検査キットで確認をして、今日の全員協議会に臨んでおります。

そういったことで、議員の皆様にはいろいろご心配をおかけして、また、いろんな予定の変更もせざるを得なくなりましたこと、いろいろお礼を申し上げます。

ご心配をおかけいたしました。ありがとうございました。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

太田議員におかれましては、各5人の方々の健康観察をして報告していただきまして、ありがとうございます。

それこそ、今、まん延防止期間中でございます。先ほど、市長報告の中にあつたように、基本的な感染防止対策の徹底、それから、県のほうから出ているマニュアル、そして、市のほうからの感染対策要領、それを議員の皆さん、各自、もう一度、重々していただいて、本当にそういうことにならないように、うつらない、うつさないという形で徹底していただきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（植田博巳君）

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

すみません、今回のことを踏まえて、少しお願いなんですけれども、今回、一番やっぱり苦しかったのは谷口議員だと思います。

みなし陽性ということで、これは誰がいつ、どういう状況になるか分からない中で、みなし陽性ということで、かかったという判断をされて、我々も濃厚接触者ということになったんですけれども、やはり、みなし陽性という判断が、なった時点で速やかに本当の確認の検査をしてもらわないと、やはり議員という立場上、公職にあり、どうしても社会的な責任もございますので、かかったものは、しょうがないんですけれども、その確認というのは、しっかりしたものの中で判断をしてもらわないと、いろんな影響がございますので、また、事務局から市のほうへも、それはなるべく、先生方も一生懸命にやられていますけれども、そこはまた一つ、いつ誰がどういう状況になるのか分かりませんので、また、そこは一つ慎重な対応をお願いするようにお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

今、太田議員からご発言がありましたけれども、みなし陽性というのは陽性という判断基準に、今はなっていますけれども、できる限りというか、確実に、みなし陽性ではなくて、そのときはPCR検査をぜひお願いしたいということで、各自、お医者さんに言っていただければ幸いかなと思います。

本当に、みなし陽性というのが、非常に問題を抱えているなど、これだけ逼迫している医療と、これだけ感染者が多い中では、そういう形にならざるを得ないというのは十分承知しておりますけれども、できる限りPCR検査を実施するように要請していただきたいと思います。

また、事務局のほうで、そういう形の何か、それはできない。各自でやっぱりやってもらえないかなとは思いますが。

それでは、この件については以上といたします。

これで全員協議会を全て終了させていただきます。

お疲れさまでございました。ありがとうございます。

[午前 9時47分 閉会]